

# 物産・観光の 発展策と島興し

叶  
芳和先生



叶芳和先生に「物産観光の発展策と島興し」のテーマで基調講演をしてもらった。先生は中央大学法学部卒業と一橋大学大学院経済学博士課程を修了、拓殖大学教授等、現在は、ウイリアムマイナー農業研究所客員教授、瀬戸内町出身。専門分野は日本経済論、行政改革、農業問題、中国・アジア経済論。

先生の講演を聴き終わって「徳之島の島興し」に的確なご指摘をもらったと思ひ、感動する点が多かった。

1点目は、奄美の人口は現在約11万8千人、人口の増減率を国勢調査で見ると昭和60年から平成22年の25年間で、名瀬市はマイナス23%、笠利町はマイナス27%、徳之島はマイナス24%、沖永良部はマイナス17%と減少している。徳之島の出生率は高いが、高校を出た

ら本土に出る。雇用の場、働く場がないからです。名瀬は出生率は高くはないが奄美の拠点市であるのに、経済、商業がだめになっていく。農業がだめになっていくところと商業がだめになっていくところは、人口減少が激しい。どう人口減少をくい止めるかは雇用の場をどう確保するかということである。商業の振興、農業の発展に力を入れないと過疎化の傾向はやまないだろうと思う。

2点目は、農業の発展については、一番発展しているのは沖永良部、一番ひどいのは奄美大島。徳之島はまあまあ発展している。その中でも、土地の条件がいのに、うまくいかないのは笠利なんです。人口減少の激しいのも笠利(△27・0%)、農業の生産性が低いのも笠利。農業の生産性が低い

表1 奄美群島の人口推移(資料)国勢調査。平成22年度奄美群島の概況 (単位:人)

|            | 名瀬市    | 北部2町   | 南部4町村  | 喜界島    | 徳之島    | 沖永良部島  | 与論島   | 計       |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 1985年(昭60) | 49,765 | 14,835 | 20,200 | 10,591 | 33,632 | 16,818 | 7,222 | 153,062 |
| 2010年(平22) | 38,259 | 12,396 | 15,115 | 8,169  | 25,588 | 13,920 | 5,327 | 118,773 |
| 増減率(%)     | -23.1  | -16.4  | -25.2  | -22.9  | -23.9  | -17.2  | -26.2 | -22.4   |

## 徳之島里帰り・格安旅行

シマとヤマトの架け橋

# 奄美センターへ

徳之島里帰り・格安旅行 ¥63,300~110,800

(3日間、8日間以内にお帰り下さい)

(ご参考:正規の往復航空運賃¥90,440)

☆上記料金には

①往復航空運賃②宿泊費2泊(朝・夕食付)が含まれます。

●ご出発の10日前迄にお申し込み下さい。( )内は正規往復航空運賃

- ◎鹿児島 ¥27,000~94,800(¥70,340)
- ◎奄美大島 ¥41,800~109,800(¥83,540)
- ◎喜界島 ¥67,200~135,200(¥88,240)
- ◎沖永良部 ¥66,800~149,300(¥94,240)
- ◎ヨロン ¥41,800~118,800(¥95,040)
- ◎沖縄 ¥29,800~77,800(¥73,940)



詳しくは 『シマとヤマトの架け橋』  
株楽園企画 奄美センター東京営業所  
〒171-0043 東京都豊島区要町2-14-11  
☎03-5965-1281 FAX 03-5965-1285  
(鹿児島県知事登録第3-227号)

厚生労働大臣認可労働保険事務組合 相互労務事務センター

## 社会保険労務士松林労務管理事務所

社員教育訓練/賃金・就業規則  
社会保険・労働保険/個別労働紛争解決の相談  
コンピュータ給与計算/厚生年金受給指導

理事長 **松林清雄**

元関東徳州会会長

所長 **松林慎二**

特定社会保険労務士

**松林陽子**

社会保険労務士

〒104-0033  
東京都中央区新川1-31-8  
ニックハイム茅場町505号(茅場町駅)  
TEL 03-3553-9601(代) FAX 03-3555-9823  
E-mail:k-matsubayashi@labor-manage.com